

あなたの家の地震対策は万全ですか？

地震での被害の多くは建物の倒壊などによる圧迫死です！

問合せ先 耐震化支援事業について 建築指導課(☎51・2581)

日頃からの災害対策について 防災危機管理課(☎51・3116)

いつでもどこで被害にあうかわからない震災。尊い命を守り、被害を少しでも小さくするために、今できる、今しなければならぬ「備え」とは何かを考え、地震対策を進めましょう。

平成19年、中越沖地震で壁(耐力)不足が原因で倒壊した住宅

■「東海地震」発生のおそれ

東海地方では、昔から大きな地震が繰り返し発生しています。特に東海沖では1000～1500年の間隔で大地震が発生しています。現在は、最も近い1854年に発生した「安政東海地震」から160年近く経過しているため、「東海地震」はいつ発生してもおかしくないと言われています。また、東海地震と東南海地震が連動して発生する可能性も高く、その場合、豊橋市では最大震度6強の揺れが1分30秒以上続くと予想されています。

■過去の地震からの教訓

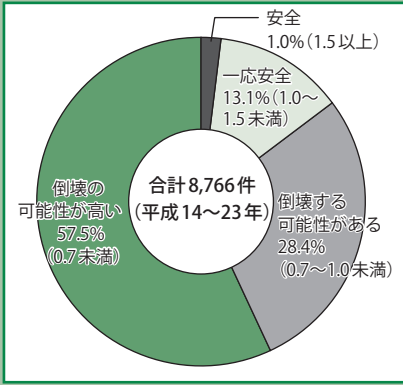
阪神淡路大震災

平成7年に起きた阪神淡路大震災では、6400人以上の方が亡くなりました。その8割以上が、倒れてきた建物や家具による圧迫死であったことが分かっています。安全であるはずの住まいの倒壊によって、逃げる間もなく多くの命が犠牲となってしまいました。このような人的被害は、建物の耐震化などの事前の予防対策を行わない限り、救助体制強化などだけでは、防ぐことができません。

東日本大震災

みなさんの記憶にも新しい昨年3月に起きた東日本大震災での死因の多くは、津波による水死でした。石巻港(宮城県)では、地震が発生してから39分で津波の最大波が到達したことが分かっています。

■木造住宅無料耐震診断結果



※グラフ内の数値は無料耐震診断の総合評価(耐震性の目安となる数値)です



私たちの暮らす豊橋では、南海トラフで最大級の地震が発生した場合、最大で太平洋沿岸は約20m、三河湾沿岸は約3mの津波が来ると予想されています。「どうせ津波が来たら家が流されてしまいうから…」などと考え、地震対策を怠らないでください。地震の際に建物の下敷きになったら、津波から避難することが出来ません。津波から避難するためにも地震対策が必要です。

■あなたの家は大丈夫ですか？

わが家を地震から守る第一歩は「わが家の状態を知ること」です。昭和56年以前に建てられた木造住宅は、「一般的にみて」「耐震性が低い」と言われています。過去に豊橋市で耐震診断を受けた木造住宅のうち、実に約86%が、震度6強の地震が発生した場合、倒壊の可能性が高い、または倒壊の可能性があるという診断結果となっています(左グラフ)。地震が発生したとき、もしも家の中にいたら？家の周りに通行人がいたら？地震によって倒れる建物の影響は周囲にまで及びます。自分の命を守るため、周囲に広がる被害を少しでも減らすためにも、ご近所やお知り合いのみなさんと一緒に、まずは耐震診断で住まいの弱点を把握して、必要なところを重点的に補強するなど合理的な対策を進めましょう。

また、構造基準の見直しが行われた昭和56年以降に建てられた住宅にお住まいの方も、今一度わが家の地震対策について考え、家具の転倒防止など今できる備えを進めてください。

住まいの健康診断から始めましょう！耐震化支援事業のご案内

①耐震診断に関する補助制度

(1)木造住宅無料耐震診断【全額補助】

木造(軸組構法または伝統構法)の住宅について、診断員が無料で耐震診断します。

(2)非木造住宅耐震診断補助費【一部補助】

鉄筋コンクリート造、鉄骨造など木造以外の住宅について、耐震診断費の一部を市が補助します。

●対象となる建物

- 1 次の1～3のすべての条件を満たす建物
(昭和56年5月31日以前に着工された建物)
- 2 一戸建て住宅、併用住宅、長屋住宅、共同住宅
(借家を含む)の建物
- 3 現在、人が住んでいる建物(空き家は対象外)

②木造住宅耐震改修工事に関する補助制度

木造住宅の耐震改修工事費の一部を市が補助します。

●対象となる工事

- ① (1)の「木造住宅無料耐震診断」を受けた結果が1.0未満と判定された住宅を、0.3以上アップして1.0以上とする耐震改修工事

③木造住宅解体工事に関する補助制度

木造住宅の解体工事費の一部を市が補助します。

●対象となる工事

- ① (1)の「木造住宅無料耐震診断」を受けた結果が0.7未満と判定された住宅を、一棟すべて解体する解体工事

※今年度から、非木造住宅の耐震改修費補助についてもスタートしていますので、ご相談ください

耐震診断Q&A

Q 診断は無料ですか？

A 無料です(木造住宅に限る)

Q 申し込みからどのくらいで結果がわかりますか？

A 約2か月半です。申し込みから約1か月半後に現地での診断となります。

Q 診断員はどんな人？

A 愛知県が認定する木造住宅耐震事業の講習会を受講し、愛知県に登録した建築士です(登録証を携帯しています)。

Q 診断日時は、こちらの都合に合わせてくれるの？

A 事前に診断員が連絡し調整します。なお、土・日曜日の診断も可能です。

Q 現地での調査にはどのくらいの時間がかかるの？

A 1時間半程度です。調査時には、立ち会いをお願いします。

Q 診断を受けたら必ず改修工事をしなければいけないの？

A いいえ、診断結果報告後の改修工事や解体工事については、ご自身の判断で行ってください。

あなたのお宅はお済みですか？ 家の中の地震対策

地震の時は、たとえ建物が無事でも、食器棚、冷蔵庫などが転倒したり、テレビや電子レンジが飛ぶ、時計や照明器具が落ちてくるなど、普段私たちが使っている家具が凶器となることがあります。家の中を見渡して、事前に対策をしておきましょう。

■家具の配置を見直しましょう

寝室のベッドや布団の上に家具が倒れてこないようにしましょう。タンスなどの家具が倒れる方向にベッドなどを置かない、倒れても届かない位置に置くなど家具の配置にも工夫が大切です。また避難口となる出入口付近をふさがない家具の配置を考えましょう。

■窓ガラスの飛散防止をしましょう

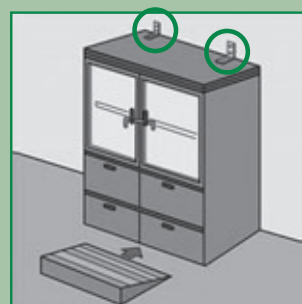
地震の時に窓ガラスが割れたり、食器棚が倒れて、破片が飛び散ると大変危険です。割れたガラスでケガをしないために「ガラス飛散防止フィルム」を貼りましょう。

■重い物は低い所へ

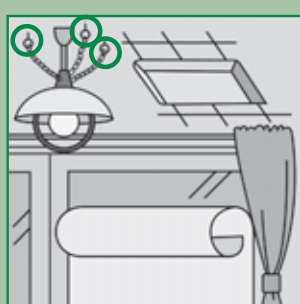
食器棚の陶器やガラスでできた大きくて重いもの、また、本棚の百科事典や図鑑などの重い本は下段に入れるなど、家具全体の重心を下げると倒れにくくなります。

■家具の固定をしましょう

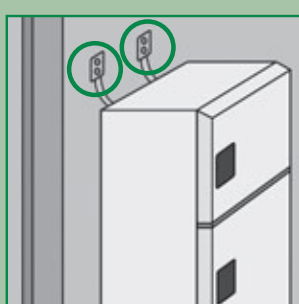
家具の転倒を防ぐために金具やベルトなどを使って、固定をしましょう。主な固定方法は次のとおりです（一例です）。



タンスや食器棚はL字金具で固定し、ストッパーを敷きましょう



照明器具は揺れて天井にあたると電球や蛍光灯が割れ、危険ですのでチェーンやワイヤーなどを取り付けましょう



テレビや冷蔵庫はベルト、チェーンを使い固定しましょう

この他にも固定方法があります。少しでも地震の被害を小さくするために、今からできることに取り組んでみませんか？

総合防災訓練を実施します

防災関係機関の相互協力体制の確立と市民防災意識の高揚を図るために、東海・東南海・南海地震を想定した総合的・実践的な訓練を実施します。

とき 9月1日（土）午前10時～11時30分 ところ 中島広場（神野新田町字中島）、旭小学校 その他 緊急情報伝達システム（市内一斉通報用防災無線）で次の訓練のサイレンなどを鳴らします①午前8時30分／防災訓練の広報（市内全域）②午前8時32分頃／大津波・津波警報発表時のサイレン（太平洋および三河湾沿岸部のみ） 問合先 防災危機管理課（☎51・3126）

「豊橋ほっとメール」で、 防災情報も配信しています

問合先：防災危機管理課（☎51・3127）

登録方法：登録用メールアドレス（tou@anzen-ansin.net）に空メールを送信し、返信されたメールの指示に従って設定してください。下記のQRコードでも登録できます。設定方法などの詳細については、お近くの携帯ショップ、コールセンター（☎0120・670・970 土・日曜日、祝・休日を除く午前9時～午後6時）またはホームページ（<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bousai/bousainet.html>）参照※迷惑メール防止機能を設定している場合はドメイン名「anzen-ansin.net」を受信できるよう事前に設定してください。

■配信する内容

- ・ 気象警報情報
- ・ 避難所開設情報
- ・ 避難勧告など避難に関する情報



登録用EメールアドレスQRコード